



ここでは、緑市民病院の男性看護師について紹介します。
緑市民病院には現在8人のナースマンがいます。
今回は、「ナースマンあるある」についての対談です。



3B 病棟看護師 伊神 秋彦

男性看護師の悩み

伊神「僕は緑市民病院に来て3年になるけど、松岡君は何か月経ったかな？」

松岡「緑市民に来て5か月経つけど、やっぱりナースマンってつらいよね。」

伊神「病棟は女性の職場だからね。僕が看護資格持ってから15年経つけど、いまだに男性看護師はあまり増えてないね。患者さんから拒否られることもよくあるし…(-_-;)。」

松岡「僕も女性の清拭やおむつ交換で拒否られたことがあるよ。」

伊神「僕が患者さんでも、やっぱり女性の看護師さんにやってもらいたいと思うよ(笑)。
でも、だからと言って、男性看護師へのニーズが低いとは言えないよね。」

男性看護師だからできること

松岡「その通り！今は寝たきり患者さんも増えているし、スタッフや患者さんからも力仕事で安心してもらえることが多いよ☆」

松岡「緑市民病院は、他職種とのコミュニケーションも円滑だよ。病棟の飲み会とかにも参加しているって聞かし。」

伊神「実はそこにも男性看護師の裏方としての役割があるんだよ！コソコソと飲み会に誘ったり、ダンス練習して披露したりね(笑)
病院は色々な業種が集まっているから、横のつながりを大切にすることがナースマンの使命だと実感しているよ。」

松岡「ダンスと言えば、みんなと**武将隊**をやって、一段と仲が深まったよね」

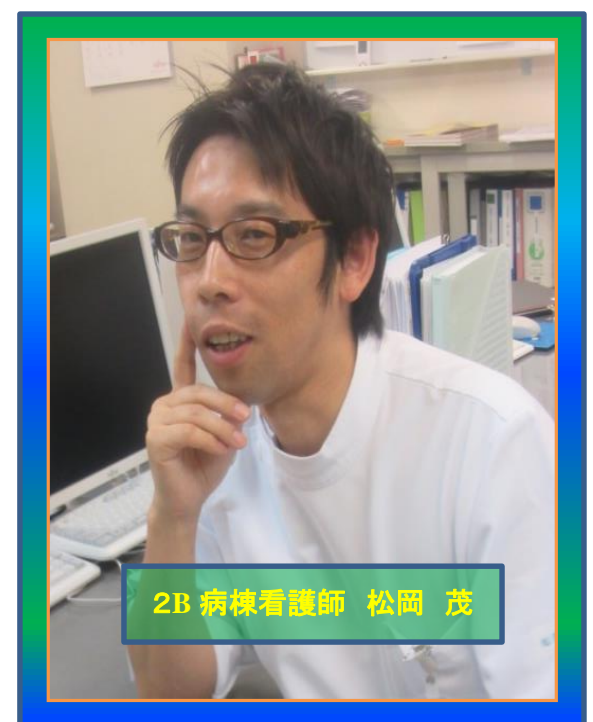
伊神「あれはすごかった。ダンスと殺陣の「**武将隊 緑**」の**演武**は大変だったよね。」

松岡「就職したばかりなのに突然誘われて、仕事と武将隊の両方を覚えるのが大変だったよ。
「仕事終わりに夜遅くまで練習したし…。でも、楽しかった！！」

伊神「看護師だけでなく放射線、薬剤師、医療事務に総務課も団結して大成功だったね。」

松岡「僕はこれから、もっと患者さんに信頼される看護師になっていくよ！」

伊神「僕はこれからも仕事だけでなく、歌や踊りなどイベントを考えて
スタッフも患者さんも楽しめるようなことを考えていきたいよ(笑)」



2B 病棟看護師 松岡 茂

次号、緑市民病院の武将隊について明らかに！